

# 見本

## 領収・明細書

医療機関等によって様式(名称)が異なる場合があります。

患者ID		発行日	平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日
ケンホ° ハナコ		医療機関名	医療法人 〇〇会
氏名	健保 花子	医療機関所在地	〇〇産科婦人科医院
生年月日	昭和 〇〇年 〇月 〇〇 日	電話番号	東京都〇〇区〇〇〇1-1-1
出産年月日	平成 〇〇年 〇月 〇〇日		
出産児数	1 人		03 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇
入院日数	7 日		
直接支払制度	対 象		

出産証明の代わりになりますので、必ず表示が必要です。  
表示が誤っていた場合は医療機関等に訂正を依頼してください。  
(訂正後の領収明細書の添付が必要です)

(※)明細書の内容は専用請求書と相違ありません。

### 明細内訳

入院料	室料差額	分娩介助料	分娩料	新生児管理保育料	産科医療補償制度
133,010	0	214,300	0	60,000	16,000
検査・薬剤料	処置・手当料	その他	一部負担金		
3,320	0	9,190	17,180		

### 合計内訳

妊婦合計負担額	代理受取額
453,000	420,000

一児につき**最大42万円の給付**となります。  
出産費用が給付額を超えている場合は差額の支給はありません。  
多胎の場合はその人数分が支給されます。



※分娩後、出産育児一時金の申請の際は、この領収書の写しが必要となります。

### メッセージ欄

「在胎週数22週(22週+1日)」以降の出産である場合に押されることとなります。  
このスタンプが押されていることにより「40万4千円+1万6千円=42万円」の給付となりますので、  
22週以降の出産であるのにスタンプが押されていない場合は、医療機関等に確認ください。  
別の書類(領収書等)に押されている場合もあります。(その際は押されている領収書等のコピーも併せて添付ください)